

- 村長から・ご紹介……………2
- 特集・龍年をこう生きたい……………3
- 行政懇談会……………4～5
- 民生課から……………6～7
- 教育委員会から……………8～9
- おしらせ……………10
- 談話室……………11
- 戸籍の窓口・行事予定……………12



勇壮 武者絵凧 あがれ！

1

月

昭和63年

最近、凧（たこ）をあげた
 ことがありますか？
 今の三十代以上の方々には、
 かじかんだ手に凧糸をしっか
 りにぎり、風に向かって走っ
 たなつかしい記憶が、どこか
 頭のすみに残っているのでは
 ないでしょうか。

数年前、N A S A の技術が
 投入されたカイトと呼ばれる
 誠に良くあがる現代風な凧を
 見かけたことがあります。

そう言えば、いつの間にか
 そんな凧も、昔ながらの凧も、
 とにかく凧あげという光景を
 見かけなくなりました。

ここに紹介する凧は、中央
 公民館壮年講座（工藤義則代
 表）の皆さん、十人の手にな
 る畳三枚大のものです。

できれば、正月に親子凧あ
 げ大会をやり、親子のきずな
 を深めたいという願いがこめ
 られ、青少年育成蓬田村民会
 議の協力を得て作られました。

ブンブンブン、長いしっぽ
 （？）をなびかせ冬空に舞え！

年頭にあたり

村長 八戸 良次郎



村民の皆さん、輝かしい初日を拝むと共に、今年はまだ村民一同にとりましても、私にとりましても、前進の輝きを刻むよい年でありますよう心から祈ってやみません。昨年は、稲作にとりましては余りよい年でなく、特に当村北部地帯は、冷凶作に見舞われ、極端な減収農家もありました。誠に心痛の至りであり、今年も『龍年』です。

界の中の日本というけれど、我々農業者はどうでしょう。多数の農家が負債をかかえ、GNP世界第二位という言葉は私達には程遠い気が致し、なりません。しかし、ここでくじけちゃなりません。苦しい時こそ、力を合わせ、知恵を絞り、本村経済の基盤である農林漁業の振興を期し、盤石の礎を築かねばなりません。その対策は、色々あると思いますが、水田農業の土地利用型体質強化、需要の動向に応じた生産性の高い農業、(先端技術の開発による飛躍的生産向上)活力のある村おこし、健康で豊かな食生活の定着促進等、まだまだあると思いますが、具体的なには省略いたします。村行政推進の中で、昭和六十三年度農林漁業振興予算を組み、最大限の対応を心がけ、村民の期待を一つひとつ具体化するよう努力致します。

紹介



助役 坂本 昭巳

自己紹介をかね、新任と新年のごあいさつを申し上げます。先ずは明けましておめでとございます。心から龍年にふさわしい昇天の村政と村民の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り致します。

さて、不肖の私ですが、村助役として赴任してから二ヶ月経ちました。村の南部、中沢の故に青森市に分家してから三十年、今こうして帰村してみますと私が在村中とは隔世の感が致します。

どこの部落も、家もそして裏の水田も、時代の推移そのままに、

記憶の糸をたぐっても容易に往時を思い出せない有様です。

一日も早く、かつての村の「ガキツ子」「アギミ」にもどって、村民の皆様の幸せのために奉仕したいと念願しております。

略歴

昭和21・5・5	蓬田青年学校
昭和23・3・31	蓬田中
昭和36・4・1	野内中
昭和40・4・1	横内中
昭和48・4・1	造道中
昭和54・4・1	沖館中
昭和60・4・1	佃中

特集

龍年をこう生きたい!

とし男、とし女が語るわたしのねがい・わたしののぞみ



郷 沢
大宮 金助さん

私の自慢は、家族が4代にわたって消防団に入ったことと、子ども達が皆元気であるということ。

去年は、春まで沖に手伝ったが、老人クラブ連合会長になったとたんに入院してしまった。残念です。

今年は一生命頑張る。もう、5年位は生きたい。

ぼくは、来年、野球部でユニフォームをとって、レギュラーになって、試合をいっしょうけんめいしたいと思います。

宿題をわすれると、のこるので部活の練習にいけないから、宿題をわすれないようにしたいです。



長 科
藤本 俊光さん



瀬辺地
越田 まつさん

私は、今まで病気という病気もしないで今日まで至っております。

これからも身体に気をつけ、ゲートボールを楽しみ、時には旅行をし、家族みんなが楽しく暮して行けたらとても幸せと思っています。

今年、ぼくの年で、たつという二文字なので、二つのことを約束したいと思いました。

一つ目は、昨年、成績が悪かったから、今年、勉強をがんばる事です。

二つ目は、何かの大会に出てひとつでも賞をもらうことです。この二つをなんとかしてやりとげたいです。



蓬 田
中村 公一さん



高 根
稲葉 勝雄さん

1988年は、わたしにとって最も重要な年であると思います。34有余年勤めた仕事も定年となる年だからです。

今年1年、事故もなく仕事に精進して行かなければと思っています。これから、身体に気をつけ身につけた経験を少しでも生かし皆の為に協力して行きたいと思っています。

毎年、年始めには一応の目標を立てるものの、ほとんど何も成し得ずに今に至っている。その訳を安易さと浅知恵のせいと考えていたが、物事に飽きっぽい根性の無さの結果だと気付いた。今年は言葉で表す具体例は避けて、意志(石)の上にも3年」という気持ちを目標としたい。



瀬辺地
工藤さとみさん



広 瀬
石山 慶子さん

子どもの時は遊びに夢中で、20代で初めて「自分の年だ、今年こそは結婚。」と考え、30代では子育てと仕事に追われいつの間にか40代後半の辰年を迎えてしまいました。

今年、家族が健康で仕事も順調で、そして、生きがいがあればと願い、老後の生活設計も考えてみたいのです。

改めて考えますと、もう4回目の年男になります。

名前も龍ですが、残念ながら昇り龍でなく平らな龍ですので、大それた事は考えず、仕事に私生活にかなえられそうな抱負を立て、充実した1年にしたいものです。

まだまだ若輩者です。これからも一村民としてよろしく。



長科
松本 龍平さん

議会同員員絡連



坂本助役(司会)



広瀬 川崎君弘さん



瀬辺地 北川健三さん



蓬田 津島鉄男さん



阿弥陀川 八戸一郎さん

十二月九日役場会議室において部落長行政連絡員合同会議が開催され、役場からのお願いや各部落からの要望について色々意見が交換されました。

紙面の都合により要望事項などを簡単に紹介します。

▼村長あいさつ
師走になり、何かとお忙しいところをご参集賜りました。誠にありがとうございます。いつも、たくさんの皆様からご協力を得まして村行政を進めているわけでございまして、心からありがとうございます。表す次第であります。

国民生活が非常に向上している現在を考えると、単に日本・青森県と言うことではなく、世界経済の中におけ

る日本の発展と言うことを考へれば、行政への需要は極めて高まっていると考えます。行政改革の名のもとに、どうも我々弱い行政だけがいられていくという気がしないわけでもありません。

しかし、私としては行政をあくまでも行政として、何としても蓬田村は農林漁業を中心

- 交通災害共済加入について
- 社会教育課から
- 簡易スキー場運営について
- 税務課から
- 申告会場借上げについて
- 土木建設課から
- 除雪について
- 各部落からの要望等
- 高根部落(佐井さん)
- 部落内融雪溝(兼防火用水)設置要望
- 単独事業で検討中
- 墓地への道路に関する舗装要望
- 下る方向で検討したい。
- 広瀬部落(川崎さん)
- 寺への道路に関する除雪要望
- 滝沢農道西側に通じる林道整備要望
- 現地調査のうえ検討する。(地元負担の可能性有)
- 瀬辺地部落(北川さん)
- ガードそば森林軌跡跡地私下げに関する要望

道路をつくって！ 無線放送が聞こえませんか

に経済基盤が成っていると考へ、また、行政がもろもろの地域住民の要望に応えなければならぬと考へ、金がなくとも精一杯努力すると言う堅い覚悟を持つべきであると心に決め、就任当初から不慣れではありますけれども、行政を進めて参りました。

常にあるがたいと考へます。今すぐ、と申し上げるわけには参りませんが、必ずや腰の強い行政を進めて、明るい村づくりを邁進したいと考えているわけでありまして、よろしくお願い申し上げます。

● 役場からのお願い
● 総務課から

12月9日実施

部落長・行政



八戸村長



高根 佐井武道さん



郷沢 高田仁吉さん



長科 坂本祐一さん



中沢 吉田清光さん

- ↓現在借用している所もある。努力する。
- ・小川平の川べり危険箇所に関する補修要望
- ↓現地調査のうえ検討する。
- ・大川目と小川平連結道路の整備要望
- ↓現地調査のうえ検討する。
- ・変電所通りを通じる林道の幅員確保要望
- ↓現地調査のうえ検討する。
- ・ゴミ焼却場の村有地への設置要望
- ↓最後に一括検討。
- 郷沢部落（高田さん）
- ・墓地道路用地の村への登記依頼及び村道格上げ要望
- ↓検討のうえ相談に応じたい。
- ・郷沢野道路の舗装要望
- ↓一昨年流れた経緯があるので、詳しく聞き対応したい。
- ・船揚場への新斜路設置要望
- ↓維持管理に問題があると見て建設省に却下された経緯がある。やる方向で

- ・対応していきたい。
- ・漁協への道路（福田繁直さん前）村買上げ要望
- ↓結論出す。
- ・部落公民館建設費に関する資金調達方法調査依頼
- ↓調査のうえ、相談に応じたい。
- 蓬田部落（津島さん）
- ・宮本地区に関する町会設立

- 約五百メートルに関する整備要望
- ↓前向きに検討する。
- 阿弥陀川部落（八戸さん）
- ・無線放送難聴解消及び放送時間設定要望
- ↓難聴地帯があることについては、今まで何度となく検討したが、機械の能力上解消は無理と結論が

- 望
- ↓計画的に補修していく。
- 長科部落（坂本さん）
- ・焼却済みゴミの処理に関する行政対応要望
- ↓最後に一括検討。
- 中沢部落（吉田さん）
- ・JR中沢駅待合室拡張要望
- ↓JRに要望していく。
- ・JR中沢駅待合室階段付近への公衆電話設置要望
- ↓前向きに検討する。
- ・中沢公民館バス回転場所への排水対策要望
- ↓以前に砂利を入れた経緯がある。検討する。
- 各部落共通
- ・ゴミ捨て場（含粗大ゴミ）
- ・ゴミ焼却場の行政対応要望
- ↓部落で対応できるものは部落で対応して欲しい。
- ・行政としても検討していく。
- ・粗大ゴミに関しては、来春早々にも合同で現地視察会を持ち対応策を考えていきたい。

ゴミには悩んでいます

各部落長

及び設立までの援助要望（回答は求めている）

- ・ゴミ収集に関するゴミ箱の計画的設置及び収集時間遅延要望
- （回答は求めている）
- ・国道二八〇号線側溝に関する泥上げの行政対応要望（回答は求めている）
- ・幹線農道蓬田川交差点以西

出ている。放送時間を設定して行きたい。

- ・ゴミ収集に関するゴミ箱設置要望
- ↓最後に一括検討。
- ・旧松前道路（森一也さん周辺）の舗装要望
- ↓数年前から要望されている。前向きに検討する。
- ・舗装道路の水たまり解消要

粗大ゴミに関しては、来春早々にも合同で現地視察会を持ち対応策を考えていきたい。

短命村返上をめざして

第一回蓬田村健康づくり大会



健康で長生きしたいという願いはだれもが持っています。しかし、長い人生ですから、無病息災というわけにはいきません。多くの人が、いろいろな健康問題を抱えているのが現実です。村民の高齢化が進む中で、村民の健康増進を図ることは、これからの村発展にとっても大きな課題です。そこで、蓬田村民の健康問題について実態を知ってもらい、成人病予防など健康に対する関心を高めると共に、村民の医療費の状況と国保財政を考える場として、十二月十五日、第一回蓬田村健康づくり大会が、玉松公民館で開催されました。

約二百人の参加者は、国保税と医療費の関係、保健婦からの村民の健康管理上の問題点、三人の健康づくり体験発表、熊谷拓治先生の講演に耳を傾けた後、『あすなろ健康体操』で汗を流しました。

がん検診



保健婦
細谷 昭子

保健婦活動から
村民の健康問題について

蓬田村民の死因と皆さんの検診の受け方から、気づいたことを述べてみます。長い間脳卒中が死因の一位でしたが、昭和六十一年からがん、心臓病が多くなり、今後脳卒中対策と共に、がんの予防が重要になってきました。

村で実施しているがん検診には、胃がん、大腸がん、子宮がんの三つがあります。

●胃がん検診の受診状況

昭和58年度	180	200	300	400人
58年度	48人(27%)			
59年度	50	225人(11%)		
60年度	36	248人(19%)		
61年度	74	340人(16%)		
62年度	69	315人	27	338人

●子宮がん検診の受診状況

昭和58年度	70人(5%)	100	200	300人
58年度	70人(5%)			
59年度	109人(1%)			
60年度	147人(9%)			
61年度	183人(13%)			
62年度				278人

- 胃がんの精密検査の実態を訪問の中からみると、①役場から病院で精密検査を受けてくださいと通知をもらうとすぐに行く人。
 - 精密検査が二、三年続くとまたかと思い、受けないまま放置したり、保健婦の訪問でしかたなく行く人。また行つて異常がない時は、不満を保健婦へぶつける人。
 - 次の年もう一回精密検査になつたら行くという人。症状がなくなつたので受けない人。恐しくて受けられない人。この三種類の型にわけられます。
 - 今までのがんの発見のケースをみると、①前年度異常のなかった人でも、その年にはがんで発見された人。
 - 毎年受けていたが、たまたま一年休んだら、がんの発見が遅れた人。
 - 保健婦の再三のすすめに、しぶしぶ受けた結果、手術をすすめられ、現在は健康に過ごしている人。
- 早期に発見された人のほとんどが、症状に全く気づかなかつたということです。
- がんの予防には、毎年検診を受けることが必要であり、精密検査をすすめられた時は、

私の健康づくり 体験発表



「40歳検診、 人間ドック を受けて」

主婦 村本 アツ子
主 坂 婦 本

坂本さんは、40歳の人間ドックを対象に実施している人間ドックで、思いもかけない大きな病気が見つかり、その体験を話してくれました。当時の本人の苦しみ、家族の思いやり、周囲の人々の励ましなど、病氣と懸命に闘ってきたことの発表は、心を打ちました。



「私たちの 食生活 改善運動」

食生活改善推進員 村上 江み子

村上さんは、昭和61年に我が村に誕生した食生活改善推進員の一人です。59人の推進員と共に、食生活の見直しで地域の人々の健康づくりをめざしています。海の幸、山の幸を活用してバランスのとれた食習慣と減塩運動でアタリの村を返上。



「私の健康法」

高齢者代表 青木 興三郎

青木さんは76歳。いつもはつらつと自転車を見ながら踏みます。この秘密は何でしょうか。今回の発表では、自転車を踏みながら歌を口ずさむと、心もさわやかになりました。青木さんはいつも「心のピアノ」で歌っています。

広 報 よ も ぎ た

必ず病院へ行くことが早期発見につながります。精密検査を受けて異常がなかった人はとても幸運であったと思ってください。一日仕事を休めればこそ働けると考えてほしいと思います。

次は子宮がん検診です。子宮がん患者が多いのは七十代が一位、六十代が二位です。食事の変化と共に二十代、三十代の発病も増加傾向です。当村は、五十代までの受診者が多く、ぜひ受けていただきたい、お年寄りの受診者がたいへん少ない状況です。お年寄りが検診を受けない理由を、老人クラブ交流会で調査したところ、「検診を受けることは、はずかしくもなんともない。年をとれば、子宮がんはなくなる。おらだちにもう関係ない。」ということがわかりました。

た。がんは無自覚に進み、年をとっても子宮があるかぎり、発病することを再認識していただきたい。

同じように乳がんについても言えることは、乳がんは自分で発見できる唯一のがんです。乳がんは男性にもあります。乳がんの発見のきっかけは、夫の指摘のケースがあります。男性にもがんのしこりを知ってもらうため、村では乳がんのモデルを購入し、検診会場等で、みなさんにさわってもらっています。毎月一回夫婦で検査しあうことは、お互いの愛情を確かめあう一つの良い方法です。本日より実際に試してほしいことです。

大腸がんの検診は便をとるだけです。もつと普及したいものです。食事制限の必要もなくなり、発見の確率も高くなりました。今年二人病気の発見があります。

住民総合検診

住民総合検診は結核検診と循環器検診と併設です。ミニ人間ドックの内容に改善されましたので、ぜひ受けてください。結核は、蓬田の場合、毎年新発生があります。問題点として、内科にかかって発見が遅れたケースがあります。胸の写真をとらないとわからないので、毎年胸部の写真をとる住民検診は重要です。ま

●住民総合検診の受診状況

年齢	人数	割合
58年度	71	31(A)(10%)
59年度	119	73B(A)(23%)
60年度	112	53C(A)(16%)
61年度	46	81(A)(19%)
62年度	26	68(A)

※■の数字は受診者の内の要精検査数

た、肺がんの発見にもなりま

成人病は長い間の食事のとり方、悪い生活習慣の積み重ねにより気のつかないうちに進む病気であり、これを治すには、一人一人の生活改善なしにはできません。

ところが、皆さんの多くは、食生活や労働量と休養など、生活を見直すという予防の実践より「病気になるたら病院へ行けばよい。病氣は医者か

「治す。」という考え方がありま

す。生活を改善することはむずかしいことですが、三年前から地域で減塩運動に取り組みリーダーたちの努力と根気で、しだいに浸透してきました。

厳しい社会状況の中で仕事を休み検診を受診することを願っています。選考の投票率九〇%、検診の受診率二

蓬田村健康づくり重点目標

- 働きざかりの健康管理…検診率向上で早期発見・早期治療
 - 胃がん検診率目標 30%、子宮がん検診率目標 30%
 - 結核、住民総合検診 50%
- 食生活の見直しで成人病予防
 - 海の幸、山の幸の活用でバランスのとれた食習慣を
 - うす味で塩分はひかえめに
- 暮らし方の見直し
 - 労働と休養のバランスをとり疲労の回復を
- 健康教育の充実で、予防意識の向上
- 生きがいのある地域社会づくり……人生は60歳から

第7回 蓬田村民祭 楽しいひとときを満喫!

今回のテーマを「創造」として、第七回蓬田村民祭は、十一月七日・八日の両日、蓬田中学校体育館と農業者トレーニングセンターの二館を会場に開催されました。

蓬田中学校では、七日午後

一時から産業展を始め盆栽展、文化財展、お茶会、割り箸づくり、蓬田焼の実演、手芸など盛りだくさんの内容で文化展が行われました。

又、農業者トレーニングセンターでは、健康展、日用品バザール、商工会、婦人会の出店などが開かれ、これと同時に午前十時から午後四時までアトラクションが行われ、歌や踊り、演劇、登山ばやしなど多彩な芸能が披露され、一日中なごやかな雰囲気になりました。

文化展、健康展、産業展ともに予定どおり実施され、参加者も一、五〇〇人を超えま



した。みんなが、秋の収穫後の楽しいひとときを満喫したことと思います。

今回の村民祭において、地場産業おこしの一助として「よもぎの活用」展とよもぎミウどんの試食会を行いました。その後、村内内外から問い合わせがあり好評であります。

村内各種団体や村民一人ひとりの力をあらためて実感させられた盛大な村民祭でした。



今回の青年の船の目的は、自己啓発及び友情と連帯意識の醸成を図り、国際的視野の拡大と協調の精神を培い、明日の青森県を担う青年を育成することでありますが、この大きな事業に参加するにあたり、様々な研修の中から何か一つでも修得したいという気持ちでのぞみました。

研修は、船内研修がほとんどでしたが、寄港地研修として大韓民国と中華人民共和国の両国を訪問し、歴史、文化、教育、産業、経済等に関する施設の視察及び現地青年との交流、親善等による研修をいたしました。

まず私達が訪れたのは、韓国第二の都市釜山で、ここでは、地元の高校生による熱烈的な歓迎を受け、とても感激しました。

釜山では、いろいろな場所を視察見学しましたが、特に、印象に残ったのは、竜頭山公園でした。ここは、市内のちょうど中央にそびえる竜頭山の頂上にある公園で、晴れた日には、釜山港はもちろん、水平線のかなたに対馬も眺めることができるかとあって、とても感動的な場所でした。

次に、中国での気付いたことですが、中国人は、何故、いつでもニコニコしているのか、また拍手を力強くするのかと疑問に思いましたが、私自身思うには、それは、いやなことやつらいことがあっても常に自分自身を明るく盛り立て、励ますための一つの動作なのでは、と考えました。(ちがうかな?)

青年の船随想録② 「青年の船」を体験して

福井 明彦



謙虚な態度など日本青年が見習わねばならない点を見せつけられました。

とにかく、韓国、中国青年達の明るさ、何か一つの目標に向かっていっているような、獲物を捕える時の鷹の目のような目の輝きには、驚きました。

私は、この青年の船に参加して、心の底から良かったと思っています。帰ってきて今までも、より一皮も二皮もむけた感じがします。物事に対して柔軟性を持つて考えるようになります。

これから先、人生いろいろなことがあると思いますが、思いですが、何となく、どんな厚い壁にぶちあたっても何とか乗り越えて行けるような気がします。

それもこれも、この青年の船を主催してくださった北村青森県知事、地元の村長を始め、十四日間私達の足となり宿となった「日本丸」、特に船長、乗組員の皆さん、諸先生方、家族、親戚の皆さんなど数えきれない人々のおかげだと思えます。ほんとうにありがとうございました。

中国青年との交歓会においては、中国青年の律儀さや、

達がパンダの格好で楽器を持ち、民族舞踊を披露しながら私達を暖かく迎えてくれました。

40周年 蓬田村連合婦人会 記念式典挙行

十一月十五日、蓬田村連合婦人会40周年記念式典が、農業者トレーニングセンターにおいて、挙行されました。会員全員による「わたしらの歌」を合唱した後、会員の没者に対して黙とうを捧げました。その後、歴代会長と地区会長十年の方々へ、感謝状の贈呈がありました。また、「女性としての生きがい」と題して、小泊村教育委員会・教育長、

成田亀逸先生の記念講演があり、先生の貴重な講話に、参加者は、熱心に聞き取っていました。

式典の後は、婦人会員が、前日から仕込みして、腕によりをかけた、手づくり料理で、祝賀会を催しました。練習に練習を重ねたアトラクションが披露されると、会場は、拍手が鳴り響き、和やかな雰囲気の中に、無事終了しました。



今、婦人会では、四十周年の記念誌の作成に取り組んでいます。

感謝状を受けた方々

- 歴代会長 地区会長十年
森 みさ 越田やゑ
坂本清江 高田とむ
八戸フミ 森ふみゑ
張間キヨ 清水キクエ

スキー場オープン



二年目を迎えた蓬田村簡易スキー場は、今季も予定どおり、十二月二十四日から、六十四年三月二十二日まで開設されます。

今季は、ゲレンデ下部にあった盛り上りの部分の整地が施されたため、スロープが四十メートル程長くなり、無理にスキーを操作しなくても、自然にスキーが止まるようになりました。また、抜根もなくなったため、滑れる斜面が広くなり危険箇所もなくなりました。

施設としては、斜面が広くなった分、ナイター照明を、四

灯追加しています。

スキー場での催し物としては、一月六、七、十一日の三日間、村民スキー教室、三月三、五日のナイターでは、村民歩くスキー教室、三月六日は、子供会雪上運動会、その他、成人スキー教室も、日程は、まだ未定ですが数回開く予定ですので日程が決まり次第、チラシでお知らせします。

昨年、スキー場を訪れた、其田プロスキーヤーをはじめ公認指導員の先生方が、一様にして言ったことは、「この斜面は練習するのに最高に適している。県内でも、これだけの中斜面で滑れる所は、なかなか見つからない。これ程すばらしいスキー場を、利用しない理由はありません。また、利用者は子供主体ですが大人の利用者も、少しづつ増えて家族でナイタースキーを楽しむ家庭も多く見られるようになってきました。ぜひ一度スキー場へ、おいでください。

なお、今年度より左記のとおり料金に変更になりました。

小人	大人	シーズン券	半日券
一、〇〇〇円	二、五〇〇円		二五〇円
			一〇〇円

再注文を受付中！ 「蓬田大館遺跡」

— 蓬田大館発掘調査
報告書 —

この報告書は、早稲田大学が昭和五十九年から四回におたつて行った蓬田大館発掘調査の成果として、昭和六十二年十月末に刊行されたものです。昨年の三月から予約注文を受け、十一月初めに配本いたしました。この度、村の在庫分の内五十冊を販売することとしました。村内の方に限り、先着順に販売いたしますので、購入希望の方は、一月末日までに役場内社会教育課に申込み下さい。

(TEL) 27-2111
内線55)

なお、値段は、五、〇〇〇円です。



蓬田村表彰式

功労者11名表彰される

昭和六十二年蓬田村表彰式が十一月十二日に中央公民館で開催され、十一名の方々が表彰を受けました。

この表彰は、村の政治、経済、文化、社会、その他の各般にわたって村政振興に寄与した人や、村民の模範となる行為があつた人を表彰し、村自治の振興をはかり、民風をさかんにするためのものです。村では審査会をつくり、そこで表彰に関する事項を審査していただき、必要なものは村議会に同意を求め表彰される方々を決めることになって

います。表彰には、特別功労表彰、功労表彰、善行表彰の三種類があります。今回表彰された方々は次のとおりです。

- 特別功労表彰受賞者
 - 森 初男さん
- 功労表彰受賞者
 - (議員・助役・村長) 坂本 増吉さん
 - (議員・議長・部落長・安協会長・消防副団長) 功労表彰受賞者 坂本 三行さん
 - (村議会議員八年在職) 松本 昭夫さん
 - (村議会議員八年在職) 清水 信造さん
 - (村議会議員八年在職)



62 蓬田村表彰式

- 坂本 重彦さん (村議会議員八年在職)
 - 山館 清さん (村議会議員八年在職)
 - 坂本久米八さん (民生委員・行政連絡員)
 - 子ども会世話役) 室谷 清さん (部落長・行政連絡員・行政相談員)
 - 藤田 晃作さん (固定資産評価審査委員)
 - 稲葉孝太郎さん (役場勤務二十年)
- おめでとございます。

農水大臣感謝状

本県の農林水産統計調査に長年協力した蓬田の吉崎慶次郎さんが、11月18日青森市の青森グランドホテルで



行われた伝達式で、湯川正晃東北農政局青森統計情報事務所長から農林水産大臣感謝状をいただきました。

吉崎さんは、25年以上にわたり農家経済各部門についてデータを送り続けたものです。

ごろうさまでした。

福井さんに県褒章

11月30日に青森市のホテル青森で行われた県褒章授与式で、郷沢の福井一衛さんが名誉ある褒状と銀杯を



北村知事からいただきました。県褒章は、公共の福祉の増進に功労のあつた人や、広く県民の模範となるべき人を顕彰するものです。

福井さんは、水産業の振興に功労があつて褒章されました。おめでとうございます。

間伐実施事業進行中

林業の活性化を図るため森林育成事業推進組合が設立され、連合会もできました。

後二年間で二百ヘクタールの実施を見込んでいます。

事業は、六十一年度よりスタートし、初年度六十五ヘクタール、六十二年九十九ヘクタールが実施されました。この事業は、六十四年度まで続き、連合会としては、今

- 事業内容
- ① 樹種 スギ
 - ② 林齢 一五〜三五年生
 - ③ 補助 五一、六〇〇円 (ヘクタール当たり)



No.2 **がんばる**
若佐 秀雄 さん
中沢

桃太郎で勝負!

正月だから桃太郎かな?と思いかも知れませんが、この桃太郎、実は鬼退治のヒーローの桃太郎ではありません。今回登場していただいた若佐さん達がつくっているトマトの品種なのであります。

この桃太郎、甘いあまりトマトでありながら、完熟しても形がくずれにくいというスーパートマトであります。特にわが村で生産された蓬田トマトは品質抜群、全国的にも抜きんでた存在。東京の市場でも、今やひっぱりだこで、曲がり角に立たされてい



談話室

るわが村の農業を救ってくれるかも知れないのです。

どうぞ、お見知りおきをノさて、若佐さんにスポット。昭和二十年生まれの四二才。定時制高校に通いながら農業を始め、以来、農業一筋。現在、水田四・五ヘクタール、トマト〇・二ヘクタール、ナメコ千五百箱の経営に取り組んでいます。

若佐さんが、中でいちばん熱を入れているのが桃太郎の栽培。

雪の中での種まきから始まり、移植、ポットへの移植、定植、芽かき、誘引、ホルモン処理、収穫、出荷へと米づくりの間をぬって忙しい作業が続く。

大変でしょうと聞くと、「苦労なんて、当たり前です」と柔和な顔でキツパリ言い切るるのであります。

蓬田村農協坂本課長にうかがうと「家族の労働力にぴったりの経営規模であり、バランスがとれ、家族の協力体制がまた素晴らしく最優良農家です。」と激賞。

そんな若佐さんにも、弱点が一つ。「子供と接する時間あまりとれない」である。それでも若佐さん、今日も頑張る。



青函博前売券発売中

昭和六十二年七月九日から発売された青函博前売券は、当日券の二十五パーセント割引価格です。お願ひします。

しかも、サイパン五日間の旅ご招待などの豪華景品が当たるダブルチャンス付きです。前売期間は、昭和六十三年六月三十日までです。

第一回の抽選にもれた方には、第二回の抽選のチャンスは、役場農林水産課へどうぞ。

- 大人 一、五〇〇円
- 高校生 一、〇〇〇円
- 小・中学生 七〇〇円
- 幼児 二〇〇円

戸籍の窓



人口と世帯数
(11月30日現在)

総人口 4,296人
男 2,072人
女 2,224人
世帯数 1,048世帯

10月～11月受付分

お誕生おめでとうございます

久慈 宏則 (義孝・長男)
青木 理香 (繁一・2女)
坂本 大志 (幹人・2男)
山本 陽子 (光秀・長女)
佐々木 琢磨 (敏憲・長男)
三上 博俊 (行男・2男)
田中 弥沙 (喜久男・2女)
長内 りゅう (政昭・長男)

ご結婚おめでとうございます

(鳴海 昭仁 (青森市)
田中 麻子 (瀬辺地)
氣田 俊治 (十和田市)
八幡 敏子 (高根)
葛西 敬正 (鯉ヶ沢町)
室谷 れつ子 (蓬田)
中島 芳彦 (青森市)
川崎 理香子 (広瀬)
木村 先雄 (瀬辺地)
坂本 悦子 (中沢)
青木 昭則 (阿弥陀川)
佐々木 裕子 (青森市)
木津 孝治 (東北町)
坂本 恵理子 (中沢)

おくやみ申し上げます

張間 誠市 (長科・67歳)

1～2月行事予定

2				1				月			
9	7	3	9～1	16	14	12	10	7	7～6	5	日
初午祭 (蓬田村消防団出初め式)	蓬田村連合PTA研修会	豆まき (児童館)	村民税申告 (土日を除く)	親子で雪像づくり審査日	折紙教室 (児童館)	映画教室 (児童館)	新春つなとり大会 (トレセン)	蓬田村労働者協議会総会 (玉松公民館)	村民スキー教室 (スキー場)	席書大会 (トレセン)	行事
総務課	社教課	児童館	税務課	小学校	児童館	児童館	体協	農水課	社教課	社教課	担当



間伐講習会開催される

十一月二十日阿弥陀川の小鹿義晃さん所有山林において蓬田村森林育成事業組合連合会主催の間伐講習会が開催されました。
当日は、天候に恵まれ参加した四十人の人達は、東地方農林事務所からの講師の説明に熱心に聞き入りました。受講者一人ひとりに間伐木を選定させ、なぜその木を間伐する必要があるか、注意する点はどこかなど検討し合い有意義な実習を終えました。次回回は、部分林の現地に立ち会い講習の予定です。

除雪始まる ●ご協力を
役場では、十二月十五日から除雪の体制をとっています。除雪は、早朝から夜中まで行いますので特に次のことについて皆様の理解あるご協力をお願いします。
●道路に障害物を置かないで下さい。(自動車の駐車等)
●道路外にあっても、破損の

おそれのある物には、危険であることを表示をして下さい。
●除雪をしたあとに、雪を投げ出さないで下さい。
●除雪作業中の機械は、危険です。三十メートル以内には近付かないで下さい。
●道路で遊ばないで下さい。



編集後記

我村の消防団幹部と共に、津軽海峡線に乗り青函トンネルをもぐって来ました。トンネル内取材、ということをお忘れ、見る物すべてに感動し、生涯の思い出となりました。龍年もガンバります。(S)

